

2006年2月1日 記者会見の要旨

第9回、第10回の議事録を傍聴記として独自に作成、
これらにもとづき、開発局への「公開質問状」と、天塩川流域委員会
への「意見書」を送付

——議事要旨の全文公開の必要性和第10回委員会の問題点——

私たちは11月8日に流域委員会に対して以下の3点を申し入れた。

1. 議事要旨をやめて、発言を全文掲載する議事録を作成すること。
2. 寄せられた意見に真摯に対応し、問題点を徹底的に検討するために専門部会を設置するなどして、委員会の運営を改善すること。
3. 次の委員会で申し入れに対する回答を図ること。

再三の申し入れにも関わらず、未だに改善されること無く委員会が進行されている。

そこで、我々は

- 1) 議事要旨では不十分であり、全文議事録が必要という考えで第9回委員会傍聴記を作成した。第10回委員会で第9回委員会議事要旨が公表されたので、これらを比較・検討し、やはり全文議事録が必要なことを訴えた。
- 2) 第10回委員会傍聴記から、第10回流域委員会で論議された問題点について指摘し、我々の根拠を記した上で、開発局への公開質問状を、流域委員会には意見書を提出した。

これらを天塩川流域委員会事務局ならびに北海道開発局旭川建設部へ送付し、開発建設部には2月15日までの回答を求めるとともに、流域委員会に対しては、指摘された問題点を次回の流域委員会で検討することを要望した。

2006. 2. 1

(社)北海道自然保護協会、サンル川を守る会、下川自然を考える会、名寄サンルダムを考える会、北海道の森と川を語る会、自然・文化ネットワーク、遊楽部川の自然を守る会、大雪と石狩の自然を守る会、旭川・森と川ネット21、環境ネットワーク旭川・地球村、(社)北海道スポーツフィッシング協会

回答送付先：060-0003 札幌市中央区北3条西11丁目 加森ビル 5-6F

社団法人 北海道自然保護協会 会長 佐藤 謙

TEL/FAX 011-251-5465

